

令和7年度 第2回和泉市教育委員会評価委員会

日時 令和7年5月29日（木）午前10時00分～

場所 和泉市役所3階 3A・3B会議室

次 第

1. 開会
2. 評価委員紹介
3. 職員紹介
4. スケジュール確認
5. 教育・こども部ヒアリング
 - （1）こども未来室
 - （2）学校園管理室
 - （3）学校教育室

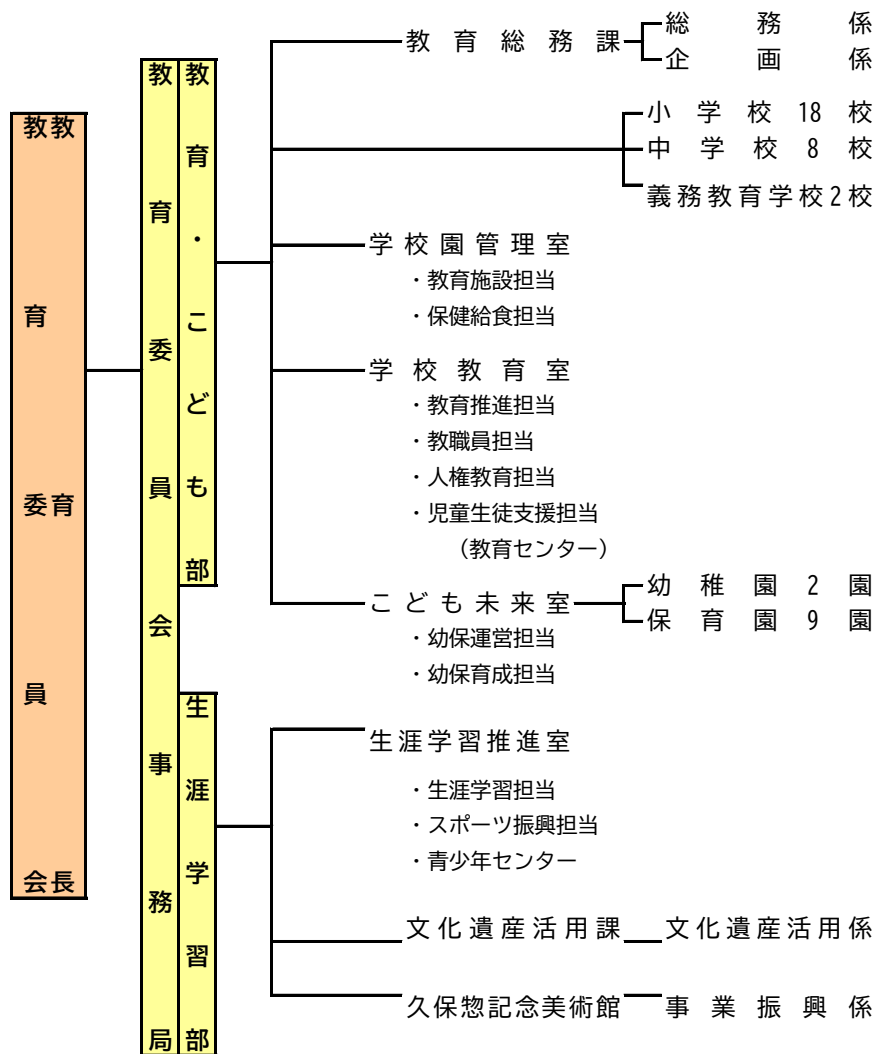
令和 7 年度（令和 6 年度事業対象）
和泉市教育委員会の点検・評価のスケジュール

	教育委員会	事務局	評価委員会
		○前年度の点検・評価に 対する意見の精査 ○6 年度事業の評価方法 の検討 ○点検・評価の素案の作成	
5月 15日(木)		○点検・評価シートの説明	<u>第 1 回評価委員会</u> <u>評価委員による</u> <u>個別ヒアリング</u> （生涯学習部）
29日(木)		○点検・評価シートの説明	<u>第 2 回評価委員会</u> <u>評価委員による</u> <u>個別ヒアリング</u> （教育・こども部）
6月 26日(木)		○委員の意見調整	<u>第 3 回評価委員会</u> （点検・評価報告書（案）の 確定）
8月 28日(木)	<u>教育委員会第 8 回定例会</u>	○点検・評価報告書（案） 議案提出	
9月		○議会に報告・公表	

資料2

(令和7年4月1日現在)

教育委員会機構図



取組項目説明順序

説明順	取組項目	時間目安
1 こども未来室	1・25	10:05～10:15
2 こども未来室	2・3	10:15～10:25
3 学校園管理室	12・13	10:25～10:35
4 学校園管理室	14・15	10:35～10:45
5 学校教育室	4・5・11	10:45～11:00
6 学校教育室	6	11:00～11:10
7 学校教育室	8・9	11:10～11:20
8 学校教育室	7・10	11:20～11:30

取組項目番号	事業名	質問	回答
1	公立保育所・公立幼稚園の運営	【平良委員長】 「⑥韓国の民族衣装や楽器及びフラダンス鑑賞など、地域人材を活用し、他国の言葉や遊びに触れる機会を創出した」の文案について、「⑥韓国の民族衣装や楽器に触れたり、フラダンスを鑑賞したりするなど、地域人材を活用し～」とする方が良いかと思います。 【杉田委員】 会計年度任用職員の応募が少ないことについて、勤務形態の問題もあると思いますが、賃金など処遇の問題も大きいかと思っています。保育士の処遇について周辺自治体と比べて、どのような状況でしょうか。 ※文章表現の修正提案 主体性を育む環境づくりを<u>おこなった</u>こと><u>行った</u>こと(※表現の統一)	【平良委員長】 ご指摘を踏まえ、修正します。 【杉田委員】 市の保育士確保については、正規職員の募集には一定の応募があるものの、会計年度任用職員への応募が少ないのが現状です。 市の保育所の将来的なあり方としては、最終的に3つの拠点園のみの運営を計画し、正規職員については、その見通し、園児数の状況を勘案しながら採用しているところで、一時的な不足を会計年度任用職員で対応することとしています。 そうしたなか、本市の会計年度任用職員の報酬水準については、近隣市においても高い水準にあると認識しているところですが、安定雇用の部分で敬遠されがちと分析しています。 なお、民間園でも保育士の確保には苦慮している状況で、保育士確保は、近隣、民間問わず、同様の課題です。 ご指摘を踏まえ、修正します。

		【川口委員】 令和6年度保育士会計年度職員の応募者数・採用者数をご教示ください。	【川口委員】 会計年度任用職員の保育士は登録制としており、正職員保育士の退職や産育休の代替等として順次採用しています。令和6年度の会計年度任用職員登録者数は32人で、そのうち採用者数は年度途中を含み28人でした。
25	放課後等の児童の健全育成	【杉田委員】 令和5年度の課題と改善策の中では、「支援員の人員確保」と「人材の資質向上等」2つの課題に対して、「民間委託を検討する」とありますが、令和6年度の課題と改善策では、「人員確保」の課題に対してのみ「民間委託を拡充」するように記載されています。その違いに意図があるのか教えて下さい。もし、特に違いがないのであれば、この点を厳密にするのではなく、「①②入会児童数の増加や支援員の人員不足に対応する必要がある、」の部分を削除してもよいのではないかと思いますので、参考に検討してください。	【杉田委員】 「民間委託」については、「人員確保」と「資質向上」のいずれにも効果があるものとして考えており、特に意図して記載を変えたわけではありませんので、委員からご提案いただいたとおり、「①②入会児童数の増加や支援員の人員不足に対応する必要がある、」の部分を削除いたします。
2	公立保育所・公立幼稚園の施設維持管理	【平良委員長】 教育センター跡地の公立認定こども園の職員は確保できそうですか。	【平良委員長】 令和7年度末には鶴山台第一保育園、芦部保育園が廃園となり、当該保育士が確保できることと、当該北西部こども園については、和泉保育園、国府幼稚園の移転統合であり、これらの保育士も配置可能であり、職員確保は可能と見込んでいます。
3	民間園への支援と連携	【平良委員長】 令和5年度の課題であった北西部地域での13人待機児童がいた件は解消したのでしょうか。	【平良委員長】 令和6年4月より北西部地域に位置する「ひばり幼稚園」が認定こども園となり、保育の受入れを開始し、定員が100名増加（うち1、2歳児の定員が各20名）となったため、令和6年4月と令和7年4月において、北西部地域での待機児童

			数はゼロとなり解消しております。
12	食育及び学校給食	【平良委員長】 米や野菜等の食材が高騰する中、給食費の値上げを検討する事態までには至っていませんか。	【平良委員長】 給食費の改定は、例年10月頃に物価高騰の影響等を検証しながら、改定の必要性を整理しており、近年では令和4年度から3年連続で増額してきました。このことに伴い、保護者負担軽減を行う補助も実施してきました。 令和7年度については、4月以降の「米飯」「牛乳」の価格が示されなかったこともあり給食費の改訂を実施しませんでした。3月に示された4月以降の「米飯」「牛乳」の価格が、小学校で500円/月、中学校で590円/月という大幅な値上げとなったため、現在その対応を整理中です。
13	学校保健の充実	【杉田委員】 内科健診有所見者受診率が前年比で大きく低下しているのが気になりました。経済の落ち込み（物価高騰などにより生活が苦しいと感じている人が増えていること）などに関連づけて考えてみたくもなるのですが、その背景について（感触のようなものでもよいので）指摘できることはあるでしょうか。また、受診率の学校間格差はどうなっていますでしょうか。	【杉田委員】 内科健診有所見者受診率で前年比より大きく低下した項目は、中学生で成長曲線から「やせ」や「肥満」を指摘する『栄養状態』です。 「やせ」や「肥満」は、症状が無自覚でも治療の必要性があることや、将来的な生活習慣病等の予防の観点から医療の必要性を医師が判断するものですが、保護者が必要性を十分に理解していないことや、成長とともに改善されるものと捉えていることもあり、受診に繋がっていないと分析しているところです。 また、児童生徒にとって、体格・容姿に関わる特にデリケートな問題でもあり、受診勧奨をしにくいと感じている教職員も存在するため、今年度は、健康リスクに対する早期介入の重要性の理解を深めたうえで、保護者に適切な指導や説明ができるよう、肥満検診担当の医師から、学校の保健活動全

			般を検討・推進する場である学校保健会において教職員対象の講演を開催し、受診勧奨に活かす取組みを検討しています。 なお、健診の各項目で受診率に差が見られるものの、学校間格差については、健診全般において特定の学校の受診率が低い状況ではありません。
14	教材の充実・管理経費の適正化	【川口委員】 令和6年度の事業評価では、「③物価高騰及び空調設備の増設に伴い増加する光熱費の抑制を図るよう、空調設備の適正利用を校長会を通じ促した。」とありますが、各学校が取り組まれたことがありましたら具体的な事例をご紹介ください	【川口委員】 基本的な事項になりますが、空調利用について以下を徹底しています ・夏季は6/1～9/30、冬季は12/1～3/31の利用を原則 ・夏季は28℃、冬季は19℃の温度設定を原則 ・扇風機のある教室では扇風機を併用し空調効率をあげる ・定期的な室内機のフィルター清掃により空調効率をあげる
15	小中学校の施設維持管	【平良委員長】 富秋学園は、市のまちづくり構想の中でどのような位置づけになっていますか。	【平良委員長】 （仮称）富秋学園は、令和2年3月に策定された「和泉市富秋中学校区等まちづくり構想」に位置付けられています。 当該計画は、集積・老朽化する市営住宅、公共施設の再編整備、集約化を行うことで余剰地を生み出し、新たな住宅地、商業施設などを誘導することでまちの活性化をめざすものです。 当該区域にある2小学校、1中学校については、施設の老朽化・児童生徒数の減少が進んでおり、よりよい教育環境の確保、まちの魅力への寄与を目的に施設一体型義務教育学校をめざすもので、このことにより、跡地利用が予定されている住宅供給の促進等にもつなげるものです。

4	学力向上	【平良委員長】 ①令和7年度の全国学力学習状況調査の中学校理科は、コンピュータを用いた試験方式が採用されたと聞いていますが、円滑に実施することができましたか。 ②和泉市において、デジタル教科書は採択されていますか。	【平良委員長】 ①サンプル問題（中学校理科）を活用した事前検証の実施など従来の方式以上に事前準備をしっかりと行ったことで、円滑に実施されました。 ②学習者用デジタル教科書は、英語については、全ての小中学校等の小学校5年生から中学校3年生を対象に、算数・数学については、活用を希望する小学校10校、中学校5校の小学校5年生から中学校3年生を対象に国から提供されており、紙の教科書と併用して活用しています。
5	英語教育・読書教育	【平良委員長】 ①取組の成果における英検3級相当以上の中学3年生以上の割合の項で、「令和9年度達成」の文言は必要ですか。 ②令和6年度における全国学力学習状況調査の中3英語の成績について教えてください 【川口委員】 ①「令和5年度の課題と改善策」と「IV 点検・評価報告書（令和6年度事業） ●課題と改善策」に表記されている内容が同じだと思います。	【平良委員長】 ①令和9年度60%としているのは、令和5年度に策定された国の第4期教育振興基本計画において示されている令和9年度の目標値をもとに、令和8年度まで段階的に目標値を設定しているためです。令和6年度から令和8年度までの目標値について追記します。 ②英語は概ね3年に1回の実施となり、令和6年度調査では実施されておりません。直近では、令和5年度に実施されており、その結果は対府比で0.87でした。 【川口委員】 ①「取組みの違いがわかるよう以下のとおり記載をあらためます。 『①②③英検3級相当（CEFR：A1相当）以上の中3生の割合を令和9年度までに60%とする目標に対して、段階的な上昇がみられているが、府・国の数値を下回っている。令和

		②「●令和6年度の事業評価」の③では、「市内全校へのALTの配置により～」とあります。昨年度からALTの配置数を増やしたのであれば、そのことに言及したほうがよいと思います。	7年度は、中学校全生徒を英検受験料補助の対象に拡充することで、生徒の受験をより一層促す。また、小学校においては英語専科教員、中学校においては英語コーディネーターを中心に具体的な授業実践を通じて、授業力向上に向けた研修や担当者会を実施する。 ④電算化を行った槇尾学園の学校図書館活用の取組みをはじめ、効果的な取組みについて、共有を図る。また、司書教諭連絡会、学校図書館司書連絡協議会と連携し、国語科を中心としたさまざまな教科での学校図書館を活用した授業づくりを行うとともに、使いやすく魅力的な学校図書館となるよう環境づくりをすすめることで読書活動の推進を図る。』 ②ALTの配置人数は、令和5年度と令和6年度で同数です。記載の中に19人と具体的な人数を盛り込み、『19人のALTを市内全校に配置し』という表現にあらためます。』
11	健康教育・体力向上	【平良委員長】 取組項目4における全国学力学習状況調査の達成目標値が1.00であるのに対し、本取組項目では、全国体力運動能力運動習慣等調査の達成目標値が対府比1.01となっています。理由を教えてください。	【平良委員長】 全国学力学習状況調査については、目標値を設定した令和4年度において対府比が0.99であり、府平均と同水準とすることを目標とした一方で、全国体力、運動能力、運動習慣等調査では令和4年度において中学校の対府比が1.01であり、中学校では本数値を維持するとともに、小学校においても府平均を上回る数値を目標としたためです。
6	教職員の資質向上	【杉田委員】 「課題と改善策」において、③スクールサポートスタッフ配置校の「時間外勤務時間がわずかに減少している成果」とありますが、課題が分かりにくい記載となっているように思い	【杉田委員】 教員の資料等の印刷業務や授業・行事等における準備・片付け、環境整備などをスクール・サポート・スタッフが担うことによる、教員本来の業務（授業づくり・児童との関わり等）

		ます。 スクールサポートスタッフの配置による成果や課題等について把握されていることがあれば教えてください。	にかかる時間の増加や業務負担の軽減、時間外勤務時間の削減などを成果の観点としているところです。 時間外勤務時間の短縮だけでなく、教員へのアンケートにて「子どもとの関わりの頻度が増えた」、「教材研究の時間が確保できた」、「業務の軽減」等の効果が確認されています。 スクール・サポート・スタッフについては、これまで欠員はありませんが、人材の確保は課題として挙げられるところです。
8	道徳教育	【平良委員長】 課題と改善策にある「保護者や地域の人々の参画等による家庭や地域社会と一体となった道徳教育に関する取組み」の今までの実践例や先進的な取り組み例について教えてください。	【平良委員長】 小学校2年生が、道徳の授業で「公共の場での約束やきまりを守ることが周りの人をいい気持ちにすること」を学び、小学校1年生と合同で遠足に行く際に、道の歩き方や駅、電車内での過ごし方を伝えることで学びが深まりました。こうした事例をブログ等で発信することで地域や家庭でも道徳教育について考える機会を創出するようにしています。
9	人権を尊重した教育	【平良委員長】 派遣されている語学指導員は、現場のニーズに合っていますか（日本語指導を必要とする児童・生徒の母語が話せる人が派遣されていますか）	【平良委員長】 母語を話せる方を派遣できるように努めておりますが、必ずしも母語を話せる方でない場合もあります。その場合でも、日本語指導の資格を有する方や英語等でコミュニケーションのとれる方を派遣するようにしております。
7	生徒指導・教育相談体制の充実	【平良委員長】 相談・指導を受けていない不登校児童生徒が、令和6年度に4人いるということですが、どのような状況ですか。個人情報に配慮しながら、答えられる範囲で教えてください。	【平良委員長】 資料の数値は、令和6年度2学期末時点のものです。直近の3学期末時点では、0人となりました。 数値を修正します。 なお、令和6年2学期末までに、相談・指導を受けられていなかった4人の不登校児童生徒ですが、養護教諭、スクールカウンセラー、相談員等による専門的な指導・相談を受ける

		【杉田委員】 ①項目6との関連で、スクールソーシャルワーカーの人材確保と定着に課題があるという記述について、（現場でどういう問題が生じているのか）もう少し詳しく教えてください。 ②「相談・指導等を受けていない不登校児童生徒数の減少」という指標について、これは「一度でも相談・支援を受ければ受けたことになる」という理解でよろしいでしょうか。そうであるとすれば、令和6年度実績としてあがっている4名の状況について、わかる範囲でご教示ください。	ことができてはいなかったものの、学校の教職員からの継続的な指導・相談は受けておりました。 【杉田委員】 ①スクールソーシャルワーカーは学校現場での活動経験のある社会福祉士もしくは精神保健福祉士等の資格を持つ方に担っていただいておりますが、府内でも人材の数が極めて不足しています。そのため、より待遇の良い自治体や福利厚生の充実した自治体への流出が課題となっております。 その状況を改善するため、令和7年度からは、週5日和泉市専属で勤務する会計年度任用職員としてスクールソーシャルワーカー1名を募集、配置し、待遇の改善を図りました。 ②資料の数値は、令和6年度2学期末時点のものでした。直近の3学期末時点では、0人となりました。 なお、令和6年2学期末までに、相談・指導を受けられていなかった4人の不登校児童生徒ですが、養護教諭、スクールカウンセラー、相談員等による専門的な指導・相談を受けることができてはいなかったものの、学校の教職員からの継続的な指導・相談は受けておりました。
--	--	--	--